

中小企業景況調査報告書

平成23年度第4・四半期（1～3月）

大江川河畔の桜



Cherry Blossoms on the Banks of Oogawa River

一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(12)
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (49) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	8
織物製造業	27
染色整理加工業	6
縫製加工業	3
そ の 他	5
合 計	49

- VI. 分析 方法
1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分析 項目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

{	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

持ち直しに一服感がみられるものの、
来期は改善の見通しである

1. 前年同期比 D I 値の分析

(1) 業況D I 値

- ① 今期(表 1、3 参照)は、▲30.0 で、前回調査値 (H23. 10~12 月期) と比較すると、▲2.0 ポイント (以下 P と記載) と、マイナス幅は拡大している。来期の見通しは、▲22.0 (今期数値との比較 8.0 P) で、マイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業の今期(49 事業所、表 2、5 参照)は、▲42.9 で前回調査値と比較すると、▲12.3 P と、マイナス幅は拡大している。来期の見通しは、▲30.6 (今期数値との比較 12.3 P) で、マイナス幅は縮小している。

(2) その他のD I 値

- ① 今期は、売上▲32.0、採算▲29.0、資金繰り▲18.0、従業員▲15.0 で、前回調査値と比較すると、売上▲8.0P、採算▲2.0P、資金繰り 1.0 P、従業員▲8.0 P と、売上、採算、従業員でマイナス幅は拡大している。来期の見通しは、売上▲25.0 (今期数値との比較 7.0P)、採算▲24.0 (同 5.0P)、資金繰り▲18.0 (同横ばい)、従業員▲7.0 (同 8.0P) で、ほとんどの項目でマイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業の今期は、前回調査値と比較すると、売上▲12.2 P、採算▲4.1P、資金繰り 4.1 P、従業員▲10.2P と、全業種と同様、売上、採算、従業員でマイナス幅は拡大している。来期の見通しは、今期数値との比較で、売上 2.0P、採算横ばい、資金繰り 4.1 P、従業員 6.1P となっており、全業種同様、ほとんどの項目でマイナス幅は縮小している。

以上のことから、今期の景況は持ち直しに一服感がみられるものの、来期の見通しは、ほとんどの業種で改善が期待される。

2. 前期比 D I 値の分析

- ① 今期(表 7、8 参照)は、業況▲34.0、売上▲46.0、資金繰り▲23.0 で、前回調査値との比較では、業況▲14.0P、売上▲20.0P、資金繰り▲7.0P と、すべての項目でマイナス幅は拡大している。
- ② 繊維製造業(49 事業所、表 9、10 参照)についても、前回調査値との比較で、業況▲10.2 P、売上▲24.5P、資金繰り▲2.0P と、すべての項目でマイナス幅は拡大している。

3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績 (表 4、6 参照) は 24 件(16 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』7 件、『車両・運搬具』5 件、『OA機器』5 件となっている。
- ② 来期の計画 (表 4、6 参照) は 24 件(14 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』7 件、『OA機器』7 件、『工場建物』4 件となっている。

以上のことから、今期の設備投資は、景況感同様に、前回調査値(41 件、27 事業所)に比べ件数・事業所とも減少している。

4. 直面している経営上の問題点(表 1 1 参照)

業種別の直面している経営上の問題点は、表 11 のとおり。経営上の問題点の上位には、『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げる業種が多い。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業〈燃糸〉）

公務員の制服関連業務を手掛けているが、予算削減による官公需要の停滞等から数量・金額とも減少した。さらに、円高にもかかわらず毛糸価格が高騰しており収益を圧迫している。

B 社（製造業〈織物〉）

原材料である羊毛の仕入価格が高止まりしており、収益圧迫要因となっている。また、最近の円高・ユーロ安により、イタリア製品などの高品質製品が廉価で輸入され、今まで以上の競合が発生している。

C 社（製造業〈その他〉）

昨年は、綿花・綿糸の高騰により、売上・利益とも増加した。しかし、今年は一転、急降下して売上・利益は減少傾向にある。価格変動に振り回されており、先が読めない状況である。

D 社（製造業〈プラスチック製品〉）

欧州の経済危機により、中国での材料、在庫がだぶつき、一時的に材料価格は下降傾向にあったが、中東のイラン情勢によって、今後は原油価格の高騰が懸念される状況にある。

E 社（卸売業〈繊維品〉）

個人消費の低迷と少子高齢化、団塊世代の大量退職の影響により、スーツ需要の減少が顕著になってきた。今後は、いかに収益を出すかが課題となる。

F 社（卸売業〈包装資材〉）

チェーン展開する飲食店向けの売上は、ほぼ横ばいであるが、個人経営の飲食店向けの売上は、業績不振から減少している。その落ち込み分をカバーするため、老人施設関連の厨房へ販売している。

G 社（卸売業〈絵画〉）

経営環境悪く、商品が売れなくなった。赤字状態が続いており、長いトンネルから抜け出せなく、出口も見えない状況である。

H 社（小売業〈自動車〉）

堅実経営に徹し、顧客を大切に、売上を伸ばしている。2・3月は年度末でもあり、車検多く、また新車も売れる時期で多忙である。

I 社（サービス業〈ホテル〉）

名古屋・尾張地区の宿泊稼働は、昨年10月頃から堅調に推移しており、当社もリーマンショック前の売上には及ばないものの、昨年比110%を達成した。今後も、一宮総合体育館、一宮駅ビルなどの建築に伴う需要(スポーツ団体、大口需要等)が見込めるのではないかと期待している。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H23. 1～3月	H23. 4～6月	H23. 7～9月	H23. 10～12月	今 期 H24. 1～3月	来期の見通し H24. 4～6月
業 況	▲21.0	▲38.0	▲27.0	▲28.0	▲30.0	▲22.0
売 上	▲15.0	▲29.0	▲28.0	▲24.0	▲32.0	▲25.0
採 算	▲30.0	▲43.0	▲36.0	▲27.0	▲29.0	▲24.0
資金繰り	▲21.0	▲17.0	▲27.0	▲19.0	▲18.0	▲18.0
従 業 員	▲11.0	▲5.0	▲9.0	▲7.0	▲15.0	▲7.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H23. 1～3月	H23. 4～6月	H23. 7～9月	H23. 10～12月	今 期 H24. 1～3月	来期の見通し H24. 4～6月
業 況	▲24.5	▲36.7	▲26.5	▲30.6	▲42.9	▲30.6
売 上	▲4.1	▲18.4	▲14.3	▲18.4	▲30.6	▲28.6
採 算	▲34.7	▲42.9	▲34.7	▲30.6	▲34.7	▲34.7
資金繰り	▲22.4	▲18.4	▲34.7	▲24.5	▲20.4	▲16.3
従 業 員	▲16.3	▲12.2	▲10.2	▲4.1	▲14.3	▲8.2

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (0)	10 (8)	1 (0)	0 (1)	2 (3)	14 (12)	▲ 30.0 (▲22.0)
	不変	4 (6)	19 (29)	7 (8)	7 (7)	5 (4)	42 (54)	
	悪化	2 (1)	32 (24)	4 (4)	4 (3)	2 (2)	44 (34)	
売上	増加	0 (0)	13 (7)	2 (0)	0 (1)	0 (5)	15 (13)	▲ 32.0 (▲25.0)
	不変	3 (3)	21 (31)	3 (7)	5 (7)	6 (1)	38 (49)	
	減少	4 (4)	27 (23)	7 (5)	6 (3)	3 (3)	47 (38)	
採算	好転	0 (0)	9 (6)	2 (2)	0 (0)	2 (3)	13 (11)	▲ 29.0 (▲24.0)
	不変	4 (4)	23 (30)	6 (8)	6 (8)	6 (4)	45 (54)	
	悪化	3 (3)	29 (25)	4 (2)	5 (3)	1 (2)	42 (35)	
資金繰り	好転	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	4 (5)	▲ 18.0 (▲18.0)
	不変	5 (3)	44 (47)	10 (10)	8 (7)	7 (5)	74 (72)	
	悪化	2 (4)	14 (11)	2 (2)	3 (4)	1 (2)	22 (23)	
従業員	増加	1 (1)	4 (5)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	6 (8)	▲ 15.0 (▲7.0)
	不変	4 (5)	44 (48)	11 (11)	9 (8)	5 (5)	73 (77)	
	減少	2 (1)	13 (8)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	21 (15)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	16	来期	計画している ※2	14
	(事業所数)	実施していない	84	(事業所数)	計画していない	86

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	0 件	5. 付帯施設	2 件	2 件
2. 工場建物	2 件	4 件	6. O A 機器	5 件	7 件
3. 生産設備	7 件	7 件	7. 福利厚生施設	0 件	1 件
4. 車両・運搬具	5 件	2 件	8. その他	1 件	1 件
複数回答可			合計	24 件	24 件

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	8	27	6	3	5	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (1)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	6 (6)	▲ 42.9 (▲30.6)
	不変	3 (5)	9 (11)	2 (3)	1 (1)	1 (2)	16 (22)	
	悪化	3 (2)	16 (14)	3 (1)	2 (2)	3 (2)	27 (21)	
売上	増加	3 (2)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	8 (5)	▲ 30.6 (▲28.6)
	不変	2 (4)	11 (14)	3 (4)	0 (2)	2 (1)	18 (25)	
	減少	3 (2)	12 (11)	2 (2)	3 (1)	3 (3)	23 (19)	
採算	好転	2 (1)	3 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	7 (4)	▲ 34.7 (▲34.7)
	不変	4 (5)	12 (14)	1 (3)	0 (1)	1 (1)	18 (24)	
	悪化	2 (2)	12 (11)	4 (3)	3 (2)	3 (3)	24 (21)	
資金繰り	好転	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	▲ 20.4 (▲16.3)
	不変	6 (7)	19 (21)	5 (5)	1 (2)	4 (4)	35 (39)	
	悪化	2 (1)	7 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	12 (9)	
従業員	増加	0 (0)	2 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	▲ 14.3 (▲8.2)
	不変	8 (8)	19 (22)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	36 (39)	
	減少	0 (0)	6 (4)	1 (0)	2 (2)	1 (1)	10 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	7	来期	計画している ※2	6
	(事業所数)	実施していない	42	(事業所数)	計画していない	43

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	0 件	0 件
2. 工場建物	1 件	3 件	6. O A 機器	1 件	2 件
3. 生産設備	3 件	3 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	1 件	1 件	8. その他	1 件	1 件
複数回答可			合計	8 件	10 件

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H23.1～3月	H23.4～6月	H23.7～9月	H23.10～12月	今期 H24.1～3月
業況	▲24.0	▲26.0	▲15.0	▲20.0	▲34.0
売上	▲33.0	▲12.0	▲11.0	▲26.0	▲46.0
資金繰り	▲21.0	▲17.0	▲19.0	▲16.0	▲23.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0	5	0	0	1	6	▲ 34.0
	不変	4	28	10	7	5	54	
	悪化	3	28	2	4	3	40	
売上	増加	2	5	2	0	3	12	▲ 46.0
	不変	1	18	3	6	2	30	
	減少	4	38	7	5	4	58	
資金繰り	好転	0	3	0	0	1	4	▲ 23.0
	不変	4	43	9	7	6	69	
	悪化	3	15	3	4	2	27	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H23. 1～3月	H23. 4～6月	H23. 7～9月	H23. 10～12月	今 期 H24. 1～3月
業 況	▲26.5	▲26.5	▲14.3	▲30.6	▲40.8
売 上	▲38.8	4.1	▲14.3	▲38.8	▲63.3
資金繰り	▲26.5	▲14.3	▲24.5	▲18.4	▲20.4

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	8	27	6	3	5	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1	1	1	0	1	4	▲ 40.8
	不 変	5	13	0	1	2	21	
	悪 化	2	13	5	2	2	24	
売 上	増 加	1	0	1	0	0	2	▲ 63.3
	不 変	2	10	0	1	1	14	
	減 少	5	17	5	2	4	33	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	1	0	3	▲ 20.4
	不 変	7	18	3	1	4	33	
	悪 化	1	7	3	1	1	13	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○官公需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難	○民間需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○原材料価格の上 昇
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○製品ニーズの変化 への対応	○需要の停滞
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰
小売業	○需要の停滞	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○利用料金の低下・ 上昇難	○需要の停滞	○店舗施設の挟隘・ 老朽化

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	1
材料価格の上昇	2
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	12
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	13
民間需要の停滞	10
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	29
生産設備の不足・老朽化	11
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	39
原材料の不足	1
人件費の増加	7
原材料費・人件費以外の経費の増加	8
製品(加工)単価の低下・上昇難	56
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	8
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	13
需要の停滞	87
その他 (・円高による海外製品の輸入の割合が多く 対抗し難い。 ・製品単価の低下)	5
合 計	269

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	10
生産設備の不足・老朽化	5
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	2
原材料の不足	0
人件費の増加	2
原材料費・人件費以外の経費の増加	5
製品(加工)単価の低下・上昇難	17
金利負担の増加	3
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	9
その他 (海外生産他)	1
合 計	68

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	2
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	4
商品在庫の過剰	7
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	18
その他	3
合 計	50

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	9
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	7
消費者ニーズの変化への対応	3
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	4
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	3
需要の停滞	14
その他	0
合 計	54

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	6
店舗施設の狭隘・老朽化	8
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	12
材料等仕入単価の上昇	1
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	11
その他 (大手元請物件の収支改善が困難)	2
合 計	47

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

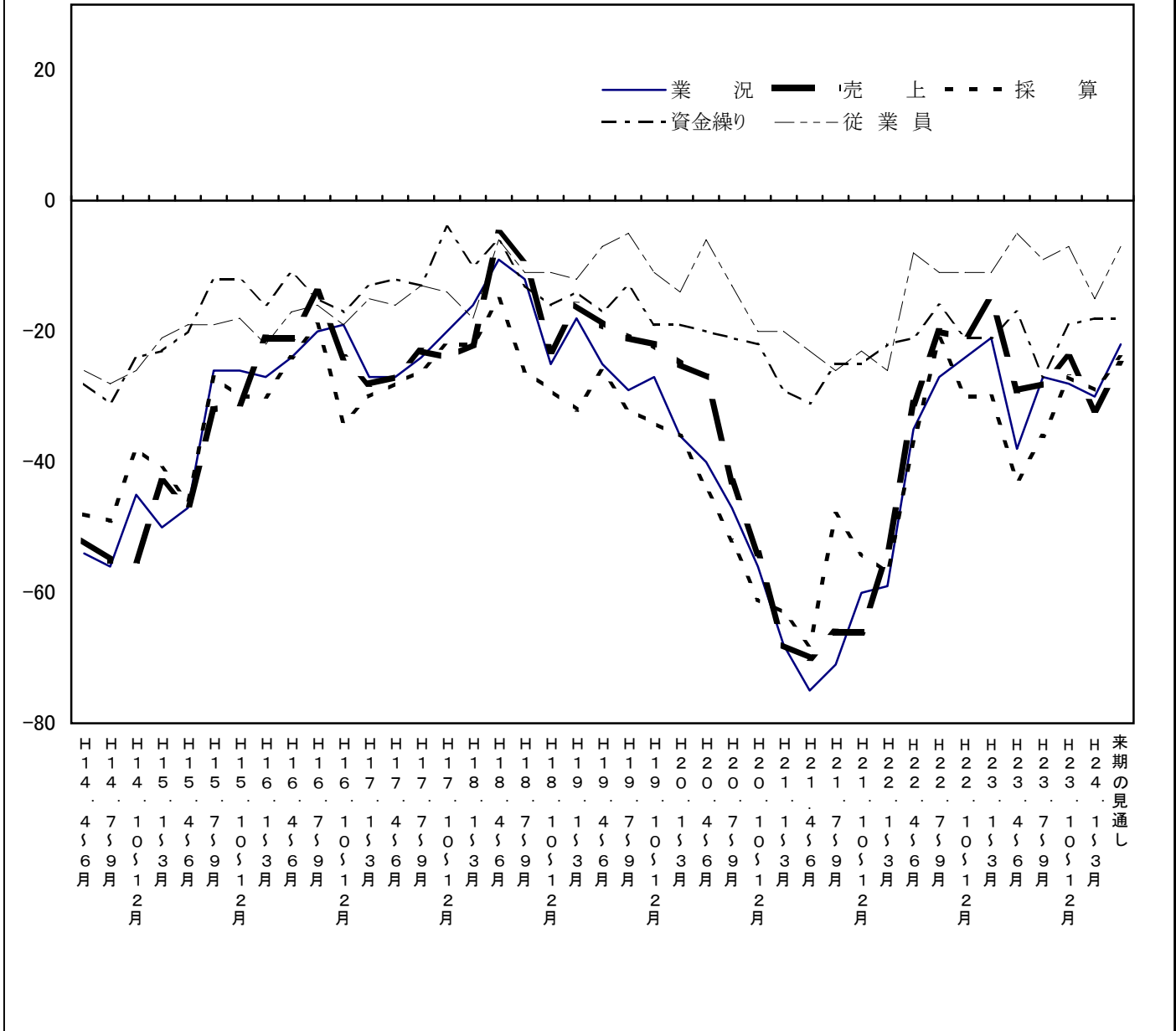


図 4

採 算 DI - 前年同期比 -

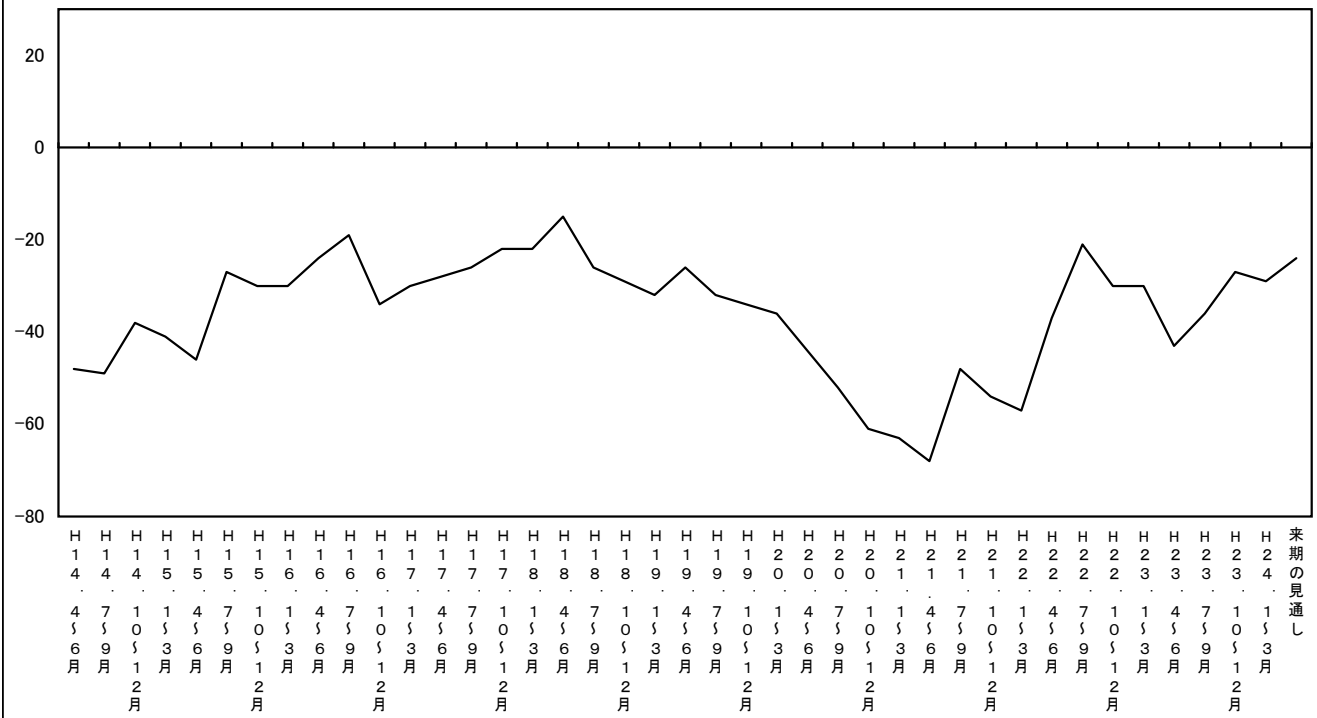
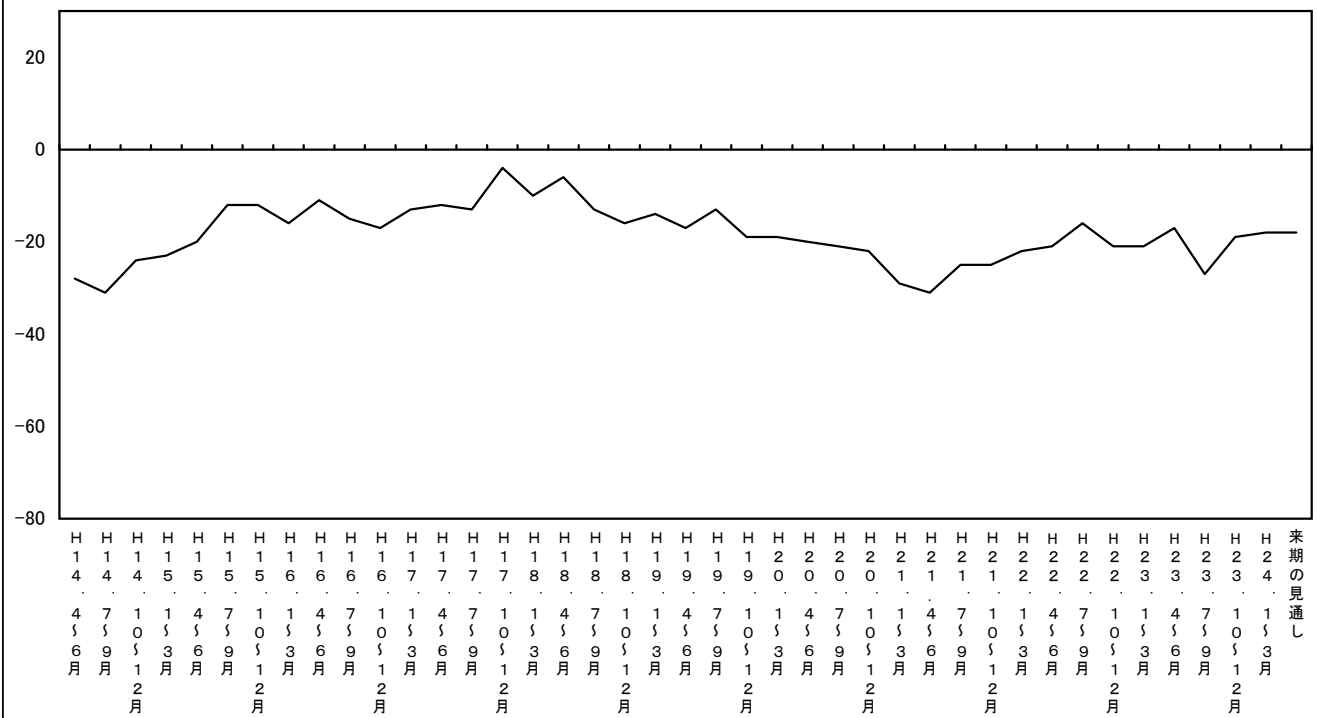
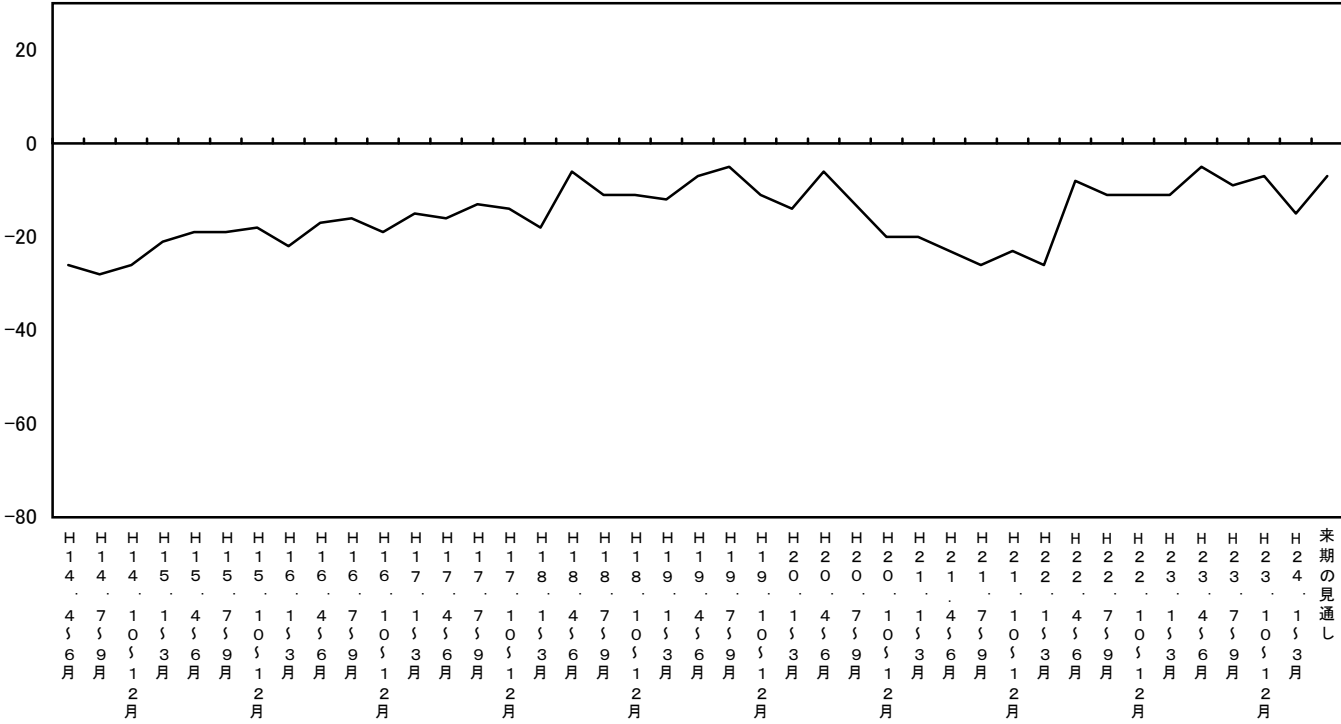


図 5

資金繰り DI - 前年同期比 -



従業員 DI ー前年同期比ー





一宮商工会議所
中小企業相談所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp